

学校だより

めざす児童像

- よく考える子
- 仲よく助け合う子
- 最後までやりぬく子
- ふるさとにほこりを持つ子

令和4年10月25日（特別号）

「学校評価アンケート」の結果と分析・考察について

清秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、7月に実施しました「教育活動についてのアンケート」の際にはご協力ありがとうございました。その結果と分析等をお知らせいたします。

職員アンケート

	どちらかと言えばそう思う。	そう思う。	どちらかと言えばそう思わない。	そう思わない。
子どもたちは、学校で楽しく過ごしている。	33%	58%	8%	0%
子どもたちは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	25%	58%	17%	0%
児童の困り感や悩みに向き合っている。	42%	33%	17%	8%
ねらい（育みたい資質・能力）を明確にした授業を行っている。	42%	42%	8%	8%
相手意識をもって表現させ、学び合う授業に努めている。	25%	58%	8%	8%
家庭学習を充実させるように、課題の質と量を工夫している。	40%	50%	0%	10%
児童を褒めたり、認めたりする場を設定し、自己有用感を高めるようにしている。	67%	25%	8%	0%
道徳の授業を要とした道徳教育を推進し、児童に思いやりの心を育てている。	18%	45%	18%	18%
自発的なあいさつを促す場の設定や指導を工夫している。	27%	64%	9%	0%
ふるさと「鳥越」のよさを感じられるように活動を工夫している。	36%	55%	9%	0%
体育の時間やその他の時間の工夫で一人一人の体力の増進に努めている。	36%	45%	9%	9%
しなければならないことややろうと決めたことは最後までやりぬくことができるように指導・支援している。	42%	42%	8%	8%

児童アンケート

	どちらかと言えばそう思う。	そう思う。	どちらかと言えばそう思わない。	そう思わない。
1 学校は楽しい。	78%	15%	6%	1%
2 いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	65%	28%	4%	3%
3 困ったことがあったら先生に相談できる。	57%	33%	7%	3%
4 授業は分かりやすい。	65%	26%	6%	3%
5 自分の思いや考えが相手にしっかり伝わるように、根拠や理由を入れて伝えている。	47%	43%	8%	1%
6 学年×10分+10分の家庭学習をしている。	67%	19%	8%	6%
7 学級活動や学校行事、たて割り活動などで、自分や友達のよさを見つけることができる。	71%	24%	4%	1%
8 友達に対して思いやりの心で行動している。	69%	26%	3%	1%
9 自分から誰にでもあいさつしている。	75%	18%	4%	3%
10 ふるさと「鳥越」にほこりを持っている。	79%	18%	1%	1%
11 体育の時間やほかの時間に体をよく動かしている。	68%	24%	6%	3%
12 早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活をしている。	46%	36%	13%	6%
13 しなければならないことややろうと決めたことは最後までやりぬこうとしている。	60%	31%	8%	1%

保護者アンケート

	どちらかと言えばそう思う。	そう思う。	どちらかと言えばそう思わない。	そう思わない。
1 お子さんは、学校は楽しいと思っています。	58%	37%	4%	1%
2 お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	65%	31%	1%	3%
3 学校はお子さんのことで悩んでいるときに相談のつてくれる。	45%	52%	3%	0%
4 お子さんは、授業は分かりやすいと思っています。	38%	47%	10%	5%
5 お子さんは家庭学習の習慣が身についている。	23%	48%	21%	8%
6 学校はお子さんのよいことや頑張ったことを認めてくれる。	60%	37%	3%	0%
7 お子さんは思いやりの心で行動している。	34%	62%	4%	0%
8 お子さんは家庭でも、地域でも自分からあいさつをしている。	44%	42%	11%	3%
9 お子さんはふるさと「鳥越」に誇りや愛着を持っている。	38%	50%	13%	0%
10 お子さんは、遊んだり、スポーツをしたりして日頃から体を動かしている。	58%	27%	15%	0%
11 お子さんは規則正しい生活（早寝・早起き・朝ごはん）を送っている。	41%	36%	21%	3%
12 お子さんは、しなければならないことや、やろうと決めたことは最後までやりぬこうと各種のたよりやホームページ等で学校の様子が分かる。	37%	58%	5%	0%

<分析と考察>

(1) 「学校が楽しい」

児童アンケート・保護者アンケートの両方で肯定的評価が高く、学校の教育活動を楽しみにしている児童が多くいることがわかります。これからもマイナス評価の児童もいることを真摯に受けて止め、共に学ぶことが楽しいと感じる学校づくりを目指していきます。

(2) 「いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごす。」

肯定的な評価が多い中で、児童アンケート・保護者アンケートの両方にマイナス評価がみられます。毎月取り組んでいる生活アンケートの中でも、嫌なことを言われるという児童がみられます。その都度、面談を行い、実態を把握し対応しています。職員同士の話し合いを

通して、早期発見、早期解決できるようにしていきたいです。これからも周りとの関わりを大切に活動の場を設け、学校や学級での居場所を作り、仲間との絆づくりができるようなクラスづくりや行事などの活動を進めていきます。

(3) 「授業は分かりやすい。」

児童・保護者共に肯定的な意見が多く、授業に主体的に参加させたり、学び合いを重視したりする学習活動を進めてきました。これからも児童にとってわかりやすい授業を目指し、継続して授業研究に取り組んでいきます。また、マイナス評価の児童も見られるので、補充学習や個別指導を進めていきます。

(4) 「家庭学習」

家庭学習強化週間などの機会を持ちながら、家庭学習の定着を進めてきています。強化週間以外でも継続的に質と量を考えた課題の工夫をしていきたいです。

(5) 「思いやりの心で行動している。」(道徳教育について)

学校の教育活動全体を通して思いやりの心や言葉、行動を大切にする指導を進めてきています。これからも、普段の生活の中での思いやりの言葉や行動をその場で認めていくことで、普段の生活の中から自他の思いやりに気づく児童を育てていきます。

(6) 「学級活動や学校行事、たて割り活動などで、自分や友達のよさを見つけることができる」

縦割り班でめあてを決めて活動したり、行事や活動があるたびに「みるみるカード」を交換したりしてきています。これからも、行事や活動へのめあてを子ども達に意識させて、努力や成長の実感を大切にしたり振り返りの時間をとっていきます。また、学年間や学年を超えた相互評価を取り入れながら続けていきます。

(7) 「ふるさと『鳥越』に誇りや愛着を持っている。」

教育目標等の「ふるさとを愛し感性豊かにたくましく生きる児童の育成」を目指し、「ふるさと『鳥越』」を掲げています。豊かな自然を生かした教育活動を行ってきた成果が表れていると思われまます。これからも引き続き鳥越の豊かな自然と地域を大切に教育活動を進めていきます。

(8) 「やろうと決めたことは最後までやりぬこうとしている。」

児童・保護者ともに肯定的評価の割合が高くなっています。教師がやることを伝えるのではなく、児童一人一人が判断し、より良い方向に考えさせることが大切だとしてきました。これからも、どうしたらよりよくなるかを考え、そのためには何をどうしたらいいか考え・行動できる子を育てていきます。

<学校関係者評価委員会より>

9月29日(木)に学校関係者評価委員会を開きました。その中で出たご意見等を紹介します。

- ・ 運動会の様子を見た。みんな仲良く、学年関係なく声掛けもしていた。
- ・ やらなくてはいけないことがたくさんあると思うが、子ども達が大人になった時を見据えて、接していくことが大切だと思う。
- ・ 形だけのアンケートにならないように、実態を把握するようなアンケート項目など、その時期にあった内容があってもいいのではないか。